

サラワクと日本のつながり

先住民の慣習地収奪を起源とする木材サプライチェーン
—Supply Chains Sourced from Deforestation and Land Conflicts—



(一社)熱帯林行動ネットワーク (JATAN) 原田 公

Akira Harada, Japan Tropical Forest Action Network

- 日本が輸入する熱帯材合板において、マレーシア産は全体の4割(2024年実績)
- 日本が輸入するマレーシア産合板のうち、約9割がサラワク州産
- 日本はサラワク産合板・木材の最大の輸入先(輸出向け全体の6割程度)
- サラワク州の「ビッグ6」と呼ばれる巨大伐採企業6社(サムリン、シンヤン、リンブナン・ヒジャウ、タ・アン、WTK、KTS)のなかでもとりわけシンヤン社製の熱帯材合板はマレーシア産のおよそ半分と見積もられる

2025年内外産合板総供給量463万7,061m³(前年比0.4%増)

国産合板出荷量257万1,974m³(前年比2.7%増)

輸入合板供給量206万7,416m³(前年比1.9%減)

インドネシア産合板入荷量68万9,103m³(前年比0.1%増)

マレーシア産合板入荷量57万6,280m³(前年比2.3%減)

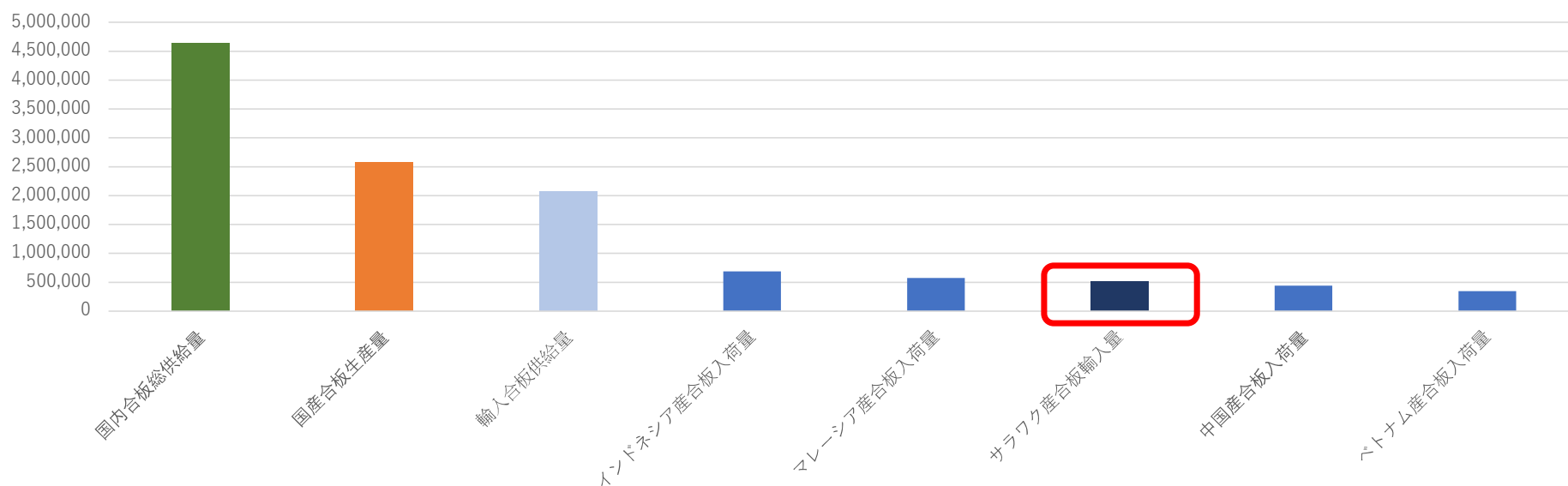
サラワク産合板輸入量51万3,324m³(前年比3.2%増)

中国産合板入荷量44万2,751m³(前年比9.2%減)

ベトナム産合板入荷量34万4,164m³(前年比6.2%増)

2025年国内合板総供給量

単位 m³ 出典「木材建材ウイクリー」No.2534号





ゼッティ社の工場で作られたシンヤン社合板



伊藤忠建材が輸入しているシンヤン社製コンクリート型枠用合板



ジャパン建材が輸入しているシンヤン社製コンクリート型



SMB建材が輸入しているシンヤン社製コンクリート型枠用

「聖域」のジャングル守れ

ボルネオ・プナン族



「プロテクト(保護)」が行われているのは、マレーシアの保護林帯や地帯の保護に必要とされている。マレーシアのボルネオ島北西部、サラワク州北西部、ブルネオに近いリンパン川南の間の十二万平方メートルの地域に、プナン族が生活している。この地域は、プナン族の伝統的な生活の場であり、プナン族の文化の中心地である。

各国の保護団体が支持

この森林帯は、動物や植物の生息地であり、プナン族の生活の場である。プナン族は、この地域を保護するために、各国の保護団体の支持を得ている。プナン族は、この地域を保護するために、各国の保護団体の支持を得ている。プナン族は、この地域を保護するために、各国の保護団体の支持を得ている。

伐採道路封鎖2カ月

「木材伐採を中止して森を返して」と、マレーシア・サラワク州(ボルネオ島北部)で、プナン族など先住民が十数年の伐採道路封鎖を続けている。伐採がストップ。このため、木材価格が暴落し、値上がりするなどの影響が出た。同州の木材の半分以上を輸入している日本の関係会社や木材商が事の成り行きを憂慮している。熱帯雨林に生息する先住民がこれほど広範囲、かつ組織的な伐採封鎖を訴えるのは異例のこと。世界各國の環境保護団体が支持を表明し、日本でも市民団体が動き出した。

朝日'87 6.5(金)



女性や子どもも参加して伐採道路を封鎖するプナン族＝マレーシア・サラワク州ロンクナビルで、原後雄太さん(写真)



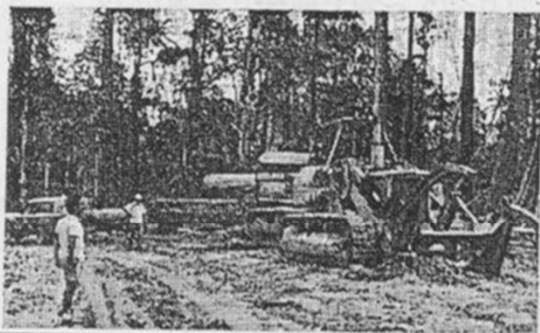
熱帯木材の乱伐 初の現地調査へ

【マレーシア】コトシボアル 二十三
日＝豊川記者 十六日からのマレーシアで開
いている国際熱帯木材機関(ITT)理事會
は、日本企業が伐採権を買い取り、熱帯林を
乱伐しているとして欧州で輸入ボイコット運
動まで起きたマレーシアのサラワク州に現地
調査団を派遣する方針を固めた。乱伐を否定
するマレーシア政府が調査団の受け入れを要
明したもので、熱帯林伐採現場に国際調査団
が入るのは初めて。これに対し、ブラシルや
ペルーなど熱帯木材の産出国は「国際機関に
よる熱帯林調査の前列になる」と強く反発し
ている。

ITT、マレーシアで

日本関与の事業 他の産出国は反発

調査団は各国政府の関係者十
一人で編成し、日本からも団員
が参加する予定。理事會が終
り次第、調査団を組織、現地に
派遣する計画で、今秋までに報
告書をまとめる。
サラワクの熱帯林は、州政府
が日本企業に伐採権を売り、こ
れに反発した地域住民が州政府



南洋材は一度伐採すると資源再生が難しい

を相手取って裁判などを起こし
たため問題が表面化した。欧州
では地球環境保護の観点から、
地方自治体によるマレーシア産
木材の輸入ボイコット決議に
で発展した。
輸入ボイコットは熱帯林の輸
出を重要な外貨獲得手段にして
いるマレーシア政府にとって死
活問題。同政府は熱帯林貿易の
健全育成を目的とするITTの
理事會に、タイプ首席大臣分

熱帯木材

日本、最大の消費 環境外交、重い腰

熱帯木材を最も多く輸入して
いる日本は熱帯林保護に重い腰
を上げ、環境外交をスタートさ
せたばかり。環境庁の地球環境
保全企画推進本部が十八日発表
した中間報告でも、熱帯林の開
発と合理的利用を確保する「た
め今後、国際機関などとも積極
的に連携プレーを展開していく
方針を打ち出しており、現在、
具体策を検討している。
環境庁によると、熱帯林減少
の原因の約八割は燃焼、農業や

ラワク州知事を送り込み、乱
伐が行われていることを証明
するため国際調査団を受け入れ
ることを表明した。
これまでに固まった派遣案に
よると、調査団はマレーシア政
府の手配を受けることなく、自
由に調査ができる。調査は環境
・経済的分野に限り、問題の
根底にある少数民族問題など政
治問題にはふれない、としてい
る。

ラ
マ
ール
ビ
ジャ
帯木
大日
立
に

熱帯
六
年
が
全
丸
材
の
輸
入
に
も
七
年
一
の
規
模
で
マ
北
ツ
プ

JATAN

熱帯林行動ネットワーク

NEWS

横浜パシフィコに
巨大チェーンソー
出現!!



1993年2月発行 No.17

熱帯林行動ネットワーク (Japan Tropical Forest Action Network)

JATAN

NO.5 '88.12.28発行

NEWS



サラワクで新たな逮捕者!

JATANは銀座で
デモンストレーション



「我々がどんなに被害をうけているか、伝えに來たのです」とブナの代表



アメリカの10/31ブナン支援



ボルネオランド・ティンバー・リソースズ (BTR) 社の「紛争木材」はどこに？



Image: The Malaysian company Shin Yang supplies Japan, Europe and the USA

<https://www.savebaramforest.org/en/background/>



Thank you
for your attention
harada@jatan.org